ガブ（初版）

僕の過去の経験からみなさんにお伝えしたいことがあります。それは「どんなに逃げても、自分からは逃げられない」ということです。これを学んだ経験をお話しします。

若い頃の僕はクズでした。人との約束を破り、ウソをつきまくり、仕事から逃げ、家族からも逃げ、周りの心配や忠告も一切無視してありとあらゆる「責任」という名のつくものを蛇かつのように嫌い逃げまわっていました。あっという間に生活は破たんし、当然ながらどこにも行き場はありませんでした。

それでも職を変え、土地を変え逃げまわり続けましたが、最後に行きついた先で、本当に生きることも死ぬこともできなくなった末に気がついたのですが、残念ながらその時すぐに言葉にできたわけではありません。

人は物事を考えたり、他の人とコミュニケーションを取るために言葉を使います。あらゆる人やものごとから逃げまわっていた僕には考えることも、コミュニケーションを取る相手もいなかったのでその時の僕には言葉が無くなっていたのです。ただあることをきっかけに「どんなに逃げても自分からは逃げられないんだ」ということを感じることができました。その事を言葉にするにはもう少し時間が必要でしたが。

具体的なことは差しさわりがあるので一切書けませんでしたが、これが僕が「自分から逃げられない」ということに気がついた出来事です。

ガブ

僕の過去の経験からみなさんにお伝えしたいことがあります。それは「どんなに逃げても、自分からは逃げられない」ということです。これを学んだ経験をお話しします。

若い頃の僕はクズでした。人との約束を破り、ウソをつきまくり、仕事から逃げ、家族からも逃げ、周りの心配や忠告もいっさい~~一切~~無視していました。ありとあらゆる「責任」という名のつくものを蛇かつの~~ように~~ごとく嫌い、逃げまわってい~~ました~~たのです。あっという間に生活は破たんし、当然ながらどこにも行き場はありませんでした。※「生活は破たんし」と「どこにも行き場はありません」は、どちらが先でしょうか。

①生活が破たんして、行き場もなくなった。

②行き場がなくなって、生活も破たんした。

前文を読むと、ウソついて、仕事から逃げて、家族からも逃げて、周囲の注目も無視した、とあります。“その結果として”、と考えると、②のほうがスムーズに見えますが、いかがでしょうか。

~~それでも~~生活が破たんしても職を変え、土地を変え逃げまわり続けました~~が~~。そして、最後に行きついた先で、~~本当に生きることも死ぬこともできなくなった末に~~気がついた~~のですが、~~ことがあります。それが、「どんなに逃げても、自分からは逃げられない」ということだったのです。仕事を変えても、家族から逃げても、周囲を振り払っても、“自分”という存在だけは、ずっと付きまとってくることに気づいたのです。~~残念ながらその時すぐに言葉にできたわけではありません。~~

人は物事を考えたり、他の人とコミュニケーションを取~~る~~ったりするために言葉を使います。あらゆる人やものごとから逃げまわっていた僕には考えることも、コミュニケーションを取る相手もいなかったのでその時の僕には言葉が無くなっていたのです。ただあることをきっかけに「どんなに逃げても自分からは逃げられないんだ」ということを感じることができました。そのこと~~事~~を言葉にするにはもう少し時間が必要でしたが。

具体的なことは差しさわりがあるので~~一切~~いっさい書けませんでしたが、これが、僕が「自分から逃げられない」ということに気がついた~~出来事~~できごとです。

※これって、哲学者デカルトの「我思う、ゆえに我あり」みたいな話でしょうか。すべてをうたがっても、うたがっている我という存在だけは疑いようのないものだった、という話です。この話、すべてから逃げようとしても、逃げようとする自分からだけは逃げられなかった、という話であれば、具体的なことを書かずとも、いいように感じます。

コメントの追加 [U1]: ここまでが結論の部分ですね。型に入れて書いています。いいですね！

コメントの追加 [U2]: この一文を読んで、読み手は思います。「どんなクズだったんだ？」。その続きに、クズぶりが書いてあります。よい流れです。

コメントの追加 [U3]: 「◎◎責任」「××責任」みたいな感じでしょうか。具体的には、何責任のことでしょうか。

コメントの追加 [U4]: この言葉は、読み手を選びます。「うるさいハエのように嫌い」だと、もっと読み手を広く想定した語彙になります。「蛇かつ」が難しいのです。ちなみに、「蛇」はヘビ、では、「かつ」は？

コメントの追加 [U5]: これを書くと、当然読み手は「なにがあったのだろう？」と気にします。気にさせておいて書かないのはNG。

コメントの追加 [U6]: 「～たり」は連続して使う言葉です
◎「飛んだり、跳ねたり」
×「飛んだり、跳ねる」

コメントの追加 [U7]: 読み手の頭の中。「あれ、コミュニケーションの話に変わったぞ。ここからコミュニケーションの話になるのかな？」

コメントの追加 [U8]: 読み手の頭の中。「あれ？　コミュニケーションの話じゃないのかな？」

コメントの追加 [U9]: 読み手の頭の中。「さっき、このフレーズ、あったような……」